

2018 年 10 月 24 日

報道関係者各位

株式会社 グラバーヒル
ヒルトン

「ヒルトン長崎」、2021 年に開業予定

長崎の中心地に九州で 2 軒目のヒルトンが誕生。

株式会社グラバーヒル(本社:長崎県長崎市 代表取締役社長:松藤 章喜)とヒルトン(米国バージニア州、取締役社長 兼 最高経営責任者:クリストファ J. ナセッタ)は、「ヒルトン長崎」の開業に向けてフランチャイズ契約を締結したことを発表しました。



完成イメージ図(MICE 施設、ヒルトン長崎 複合)

ヒルトン長崎は、2021 年秋に開業が予定されている(仮称)長崎市交流拠点施設(MICE 施設)と隣接するホテルとして建設されます。九州新幹線長崎ルート開業(2022 年予定)に伴い

新しくなる長崎駅の西側に位置し、長崎駅にも直結しているという至便な立地にあります。また、グラバー園や大浦天主堂、稲佐山など様々な観光スポットへのアクセスに最適な場所でもあります。

ヒルトン長崎は、(仮称)長崎市交流拠点施設(MICE 施設)が隣接している事で、学会や大会・コンサートなどで訪れるお客様に快適にホテルを利用いただくことが出来ます。観光だけでなくビジネスにも最適な場所でもある事から、長崎市の交流人口拡大にも大きく貢献する事が期待されています。

長崎市は、2015 年 7 月「明治日本の産業革命遺産」として旧グラバー住宅、高島炭坑、端島炭坑(通称:軍艦島)などが、2018 年 7 月には「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として大浦天主堂が世界遺産に登録されるなど日本国内はもとより世界中から注目される日本を代表する観光地です。

株式会社グラバーヒル代表取締役社長の松藤 章喜は以下のようにコメントしています。「長崎で長年観光業に携わってきた私どもがヒルトンとともに、西洋、東洋の国々とのつながりが深く、歴史、文化の影響を色濃く残した長崎の魅力を、日本国内はもとより世界へ発信出来ることを非常にうれしく思います。

世界遺産登録などで注目を集めているこの長崎で、今まで以上にローカルの知識と経験に磨きをかけるとともに、両社の提携により長崎が世界的な観光地になりゲストの皆様が感動していただけることと確信しています。」

ヒルトンのアジア・オーストラレーシア地区 開発担当上席副社長のガイ・フィリップスは、今回の契約締結にあたり、以下のように述べています。「このたび、グラバーヒルとヒルトン長崎の契約を締結できたことを大変嬉しく思います。世界遺産など多くの観光地を有する魅力的な長崎県は、観光客数も顕著に伸びており*、両社の強力なパートナーシップのもと、ホテルが開業したのちには、お客様へ良質なサービスを提供していく所存です。」

また、ヒルトン 日本・韓国・ミクロネシア地区運営最高責任者であるティモシー・ソーパーは、「ヒルトンは、北海道から沖縄まで現在 16 のホテルを展開しています。日本での更なるビジネス拡大を目指しており、このたび、九州で 2 軒目となるヒルトンを開業できることを嬉しく思うと同時に、世界中からのお客様をお迎えできる日を心待ちにしております」とコメントしています。

*出典 長崎県 観光振興課、『平成 29 年長崎県観光統計』、平成 30 年 6 月 22 日

【ホテル概要】

名 称 : ヒルトン長崎

所 在 地 : 長崎県長崎市尾上町 長崎駅周辺土地地区画整理事業15街区1画地

延床面積 : 20,300 m²

建物規模 : 地上 10 階

客 室 数 : 200 室(予定)

付帯施設 : レストラン・フィットネスジム・バンケット・チャペル等

着 工 : 2019 年夏(予定)

竣 工 : 2021 年夏(予定)

開 業 : 2021 年秋(予定)

※上記は 2018 年 10 月現在の計画で、今後も予告なく変更する場合がございます。

※建設に関するプロジェクトマネジメントは、株式会社山下 PMC に委託しています。

グラバーヒルについて

松藤グループ内のホテル事業会社として、現在長崎市内でフルサービス型外資系ホテルを運営しています。「長崎のベストホテルを目指す企業として、最も優れたサービスと商品を提供することにより、長崎の発展と人々の豊かでゆとりある生活と文化の向上に貢献する」の理念のもと、長崎の発展に今後も貢献してまいります。

松藤グループについて

松藤グループは陸上輸送事業・海上輸送事業など運送・輸送業から始まり現在はホテル事業・輸入車販売事業・不動産事業などをグループ全 15 社で展開しています。2020 年には法人創立 70 年を控え、今後も地域の発展に役立つ企業であり続けることで社会に貢献してまいります。詳細は <https://www.matsufuji-gr.com/> をご確認ください。

ヒルトンについて

ヒルトンは、世界 106 カ国に 5,400 軒以上(約 880,000 室)のホテルとタイムシェア・プロパティを展開しているホスピタリティ業界のグローバルリーダーです。ヒルトンは、世界で最もおもてなしの心に溢れた企業であることをミッションに掲げ、いつでも全てのホテルの全てのお客様に対して特別な体験を提供しており、現在、14 のグローバル・ブランド・ポートフォリオ(ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ、ウォルドーフ・アストリア・ホテルズ&リゾーツ、コンラッド・ホテルズ&リゾーツ、キャノピー by ヒルトン、キュリオ・コレクション by ヒルトン、ダブルツリー by ヒルトン、タペストリー・コレクション by ヒルトン、エンバシー・スイーツ by ヒルトン、ヒルトン・ガーデン・イン、ハンプトン by ヒルトン、トゥルー by ヒルトン、ホームウッド・スイーツ by ヒルトン、ホーム 2 スイーツ by ヒルトンおよびヒルトン・グランド・バケーションズ)を展開しています。(日本では、コンラッド・ホテルズ&リゾーツ、ヒルトン・ホテルズ&リゾーツ、ダブルツリー by ヒルトン、キュリオ・コレクション by ヒルトンの 4 ブランド・16 軒のホテルを展開)また、受賞歴を誇るゲスト・ロイヤルティ・プログラム「ヒルトン・オーナーズ」を運営しており、ヒル

トンの公認予約チャネル経由で直接予約したヒルトン・オーナーズ会員は、支払いの一部にポイントを使えたり、会員限定割引、無料 Wi-Fi などをご利用いただけます。

最新の情報はこちらをご覧ください。
<http://newsroom.hilton.com>,
<https://www.facebook.com/hiltonnewsroom>,
<https://twitter.com/hiltonnewsroom>,
<https://www.linkedin.com/company/hilton>,
<https://www.instagram.com/hiltonnewsroom/>,
<https://www.youtube.com/hiltonnewsroom>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

【本リリースに関するお問い合わせ】ヒルトン長崎 PR 事務局(株式会社マテリアル内)担当:島田/大矢/房(バン)

TEL:03-5459-5490 FAX:03-5459-5491 E メール:hiltonnagasaki-pr@materialpr.jp

【当施設に関するお問い合わせ先】株式会社グラバーヒル 経営企画室:松藤

TEL:095-822-7165 FAX:095-822-7514 E メール:t_matsufuji@matsufuji-gr.com

【ブランドに関するお問い合わせ】ヒルトン 広報担当 尾上

TEL:03-6890-9837 FAX:03-6890-5911 E メール:emiko.ogami@hilton.com